

## 稲吉南二丁目地内の取得用地に係る土地利用について

### 1 経緯

複合交流拠点施設整備事業については、令和3年度に基本設計を行い、令和4年度に当該事業用地として稲吉南二丁目の約28,000㎡の土地を購入した。

その後、事業の見直しを行い、購入した土地は「賑わいのある公園」など、様々な可能性を慎重に検討することとしていた。

### 2 取得用地の状況

所在地：かすみがうら市稲吉南二丁目2625番3

地積：28,366.12㎡

地目：宅地

### 3 土地利用の方針

公共利用から民間活力を活用した土地利用への転換を図る。

※下記病院からの申し出により、一部の土地を病院敷地として貸付けし、その他の土地についても民間活力を活用する方向としたい。

### 4 立地（誘導）施設の方向性

#### ①病院

※「医療法人社団青洲会 神立病院」より約20,000㎡を活用したい旨の申し出があり、今後の基本協定書の締結に向けた覚書を令和5年5月19日付で取り交わした。

#### ②その他（約8,000㎡）

※民間活力を活用した様々な土地利用の可能性を検討する。

### 5 民間活力の活用による利点

①病院の市内立地による市民の医療水準の向上や周辺土地における民間事業者による賑わいの創出など地域活性化や発展に繋がる。

②長期的な市の負担が無くなることにより健全な財政運営が図られる。

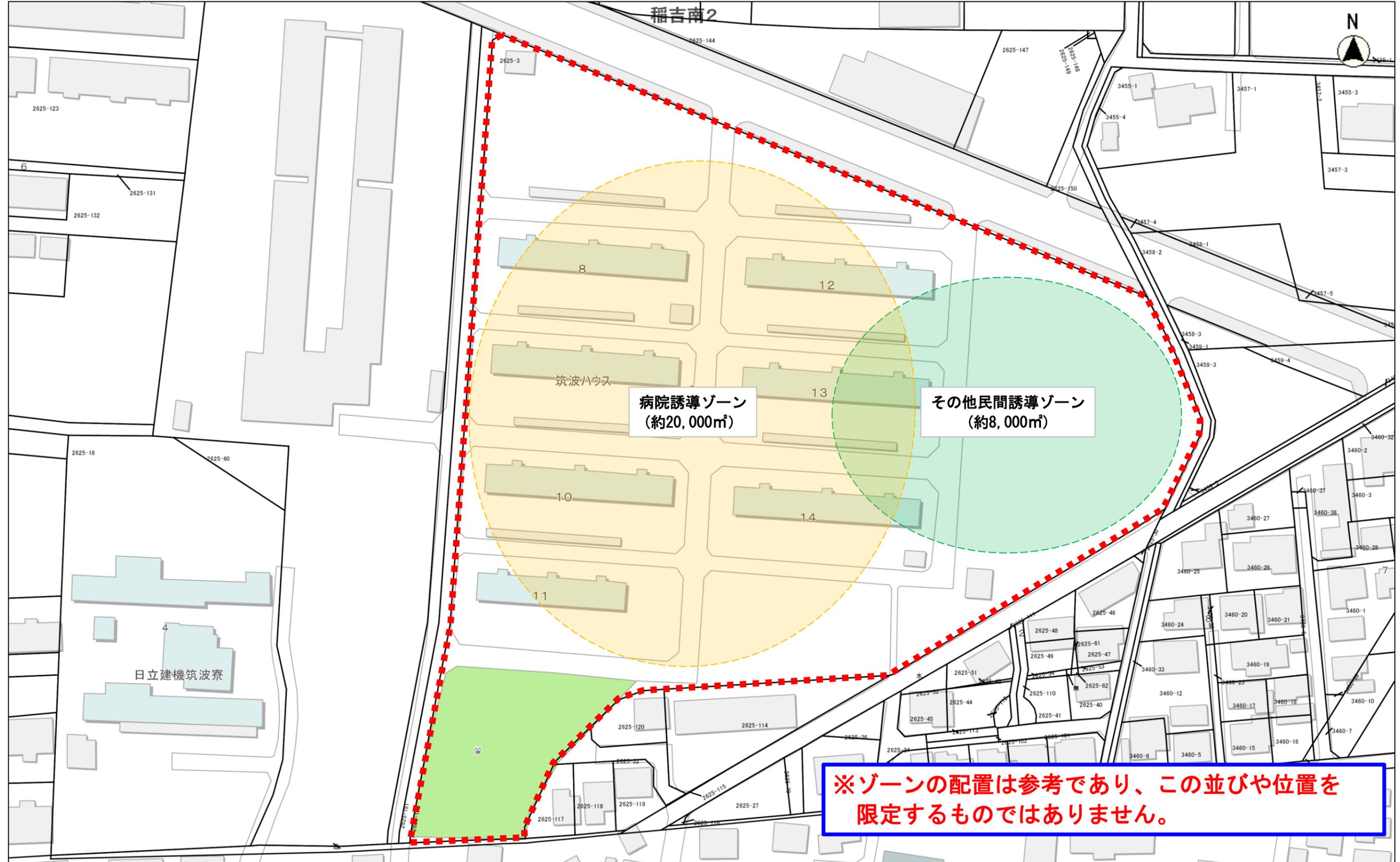
※イニシャルコスト（初期費用）やランニングコスト（維持管理費用等）

③土地貸付による貸付料収入や建物等の固定資産税の収入が見込まれる。

### 6 補助事業について

正式に病院を立地することが決定した段階において、事業計画の変更などの手続きについて、国・県と協議を進める。

ゾーニング図(イメージ)



稲吉南2



病院誘導ゾーン  
(約20,000㎡)

その他民間誘導ゾーン  
(約8,000㎡)

※ゾーンの配置は参考であり、この並びや位置を  
限定するものではありません。

日立建機筑波寮

筑波ハウス